



あなたの生活と行政をつなぐ

Saku

L
I
F
E
ライフ

広報佐久

今月のトピックス

平成29年5月

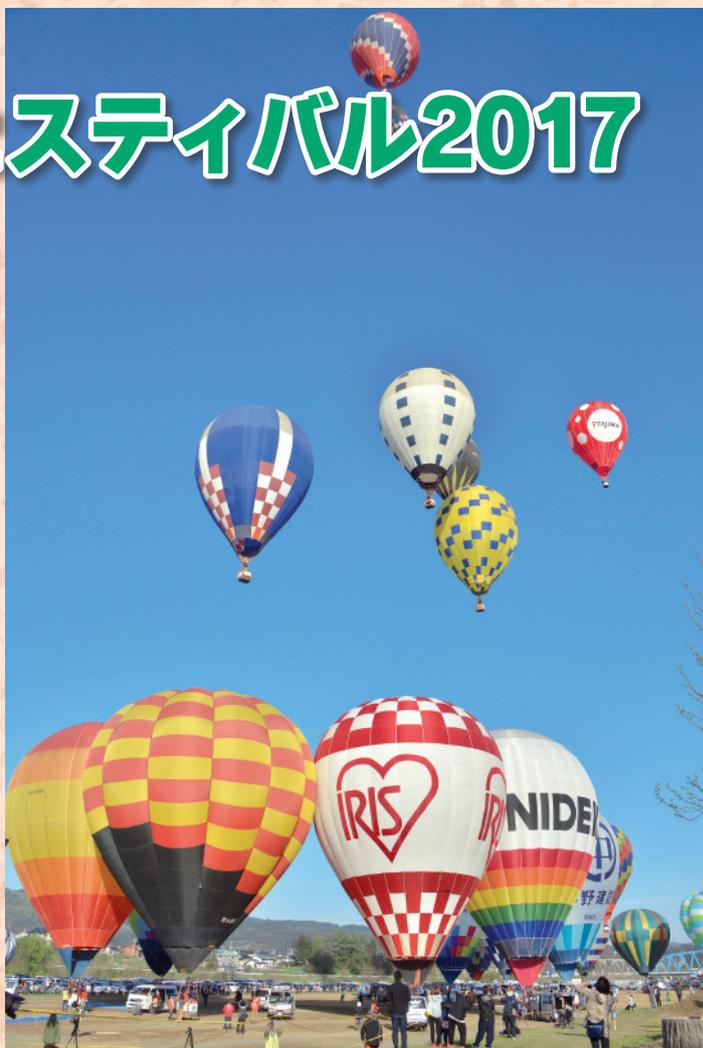


5/3~5 第25回

佐久バルーンフェスティバル2017



高瀬保育園の皆さんの発表



青空に向かって、バルーンが斉離陸



熱気球教室



ゴロピカによるパフォーマンス



ホンダトライアルバイクショー



たけし軍団も
バルーンに搭乗



優勝はYAZUYA Balloon Team



バーナーオン!!

5/3~5 第55回 佐久鯉まつり

大勢の方にご来場いただき
ありがとうございました。



保育園児の皆さんが力を合わせて鯉車を運びました



今年も先着1,000名の方に鯉こく無料サービス



友好都市の皆さんにお越しいただきました



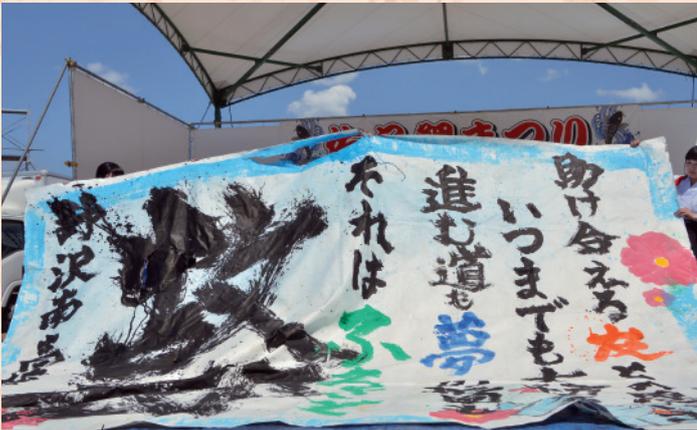
毎年恒例の鯉拝領の儀



佐久鯉マラソン大会 ゲストに上野裕一郎選手



佐久鯉マラソン大会 把瑠都が選手の皆さんにスイーツを配布

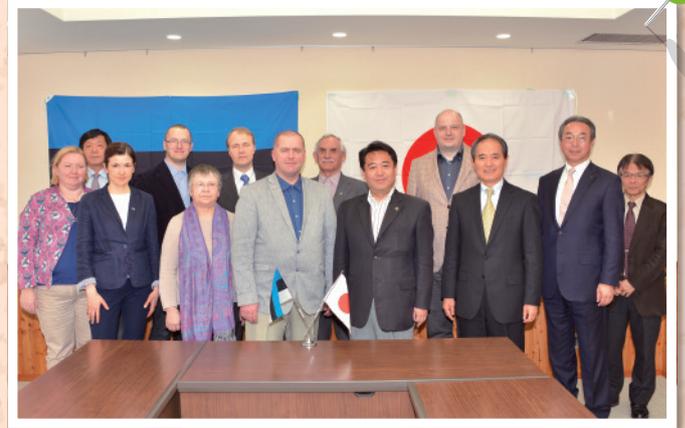


野沢南高校 書道パフォーマンス



佐久風

平成29年5月の出来事



駐日モンゴル国大使館公使、駐日エストニア共和国大使館参事官、 エストニア共和国サク市公式訪問団が佐久市を訪問

第25回佐久バルーンフェスティバル2017に出席するため、駐日モンゴル国大使館公使と駐日エストニア共和国大使館参事官、在エストニア日本国大使館前特命全権大使甲斐哲朗様、そして友好都市のエストニア共和国サク市から友好都市提携10周年を記念してサク市長、サク市議会議長はじめ公式訪問団の皆様が、来市され、柳田市長を表敬訪問されました。

滞在中は、佐久バルーンフェスティバルの開会式にご出席され、花を添えていただきました。また、熱気球係留体験や市民との交流、佐久鯉料理など堪能されました。



『タイ、サンスク町における 町ぐるみ高齢者ケア・包括プロジェクト』看護研修生 市長表敬訪問

JICA草の根技術協力事業『タイ、サンスク町における町ぐるみ高齢者ケア・包括プロジェクト』の看護研修のため5月10日～21日まで佐久市に滞在され研修を受けられた看護師、理学療法士等の皆さん13名が、柳田市長を表敬訪問されました。

この事業は、平成28年1月から佐久市が提案市となり、佐久大学を事業主体とする技術協力事業です。タイ王国においては、高齢化が急速に進んでいる現状があり、日本の高齢者福祉を中心に保健医療福祉などを学ぶ目的で来日されました。



中部横断自動車道事業推進強化の中央要望

長野県中部横断自動車道建設促進期成同盟会の主催で、「佐久地域議員連盟」、「商工会・商工会議所などの経済団体」、「佐久地域女性みちの会」など、総勢50名を超える大要望団を組織し、5月18日に中央要望を実施しました。

本同盟会の会長である柳田佐久市長を中心に、中部横断自動車道の八千穂高原IC～（仮称）長坂JCT間の早期事業化を国土交通省、財務省などに要望し、全線開通の必要性を訴えました。



十二川原工業団地土地売買仮契約の調印式が行われました

5月24日、十二川原工業団地（浅科・御馬寄地籍）の土地売買仮契約調印式を行いました。

土地を取得したのは、PETボトルなどのプラスチックボトル生産機等の企画、開発、製造および販売を行っている日精エー・エス・ビー機械株式会社様（本社：小諸市）です。

当地が、本社に近接していること、また、静岡県掛川市にある「静岡工場」のリスク分散に寄与するとともに、中部横断自動車道の整備が進むなか、各工場の連携がさらに図られ、将来は輸送コストの削減、輸出業務の合理化など経営メリットが期待できるとのご判断によりお選びいただきました。

企業の立地により雇用の機会の拡大と佐久地域経済の発展が図られ、若者の移住や定住が進む魅力あるまちづくりに繋がることが期待されます。



日本スケート連盟平成28年度優秀選手章

受賞報告 市長表敬訪問

(公財)日本スケート連盟による平成28年度優秀選手章に輝いたショートトラック競技の山浦美和子さん(佐久大学信州短期大学部1年)が、5月26日に柳田市長を表敬訪問されました。

1月に行われた世界ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会女子3,000mリレーで第3位に入賞しその功績が認められたもので、今年度のショートトラックシニア強化選手にも選ばれています。

山浦さんは、「大きな目標はオリンピック出場。そのために、まずは目の前にある課題(大会)を一つ一つクリアしていきたい。」と意気込みを力強く話してくれました。



ミャンマー水産局職員表敬訪問

国際協力機構(JICA)横浜国際センターが主幹となり、(株)国際水産技術開発が実施する国別研修コース「内水面漁業コミュニティ開発」の一環として、ミャンマーから日本を訪れた農業畜産灌漑省水産局の職員6名の皆様が、表敬訪問されました。

市内では、フナ部会の農家、長野県水産試験場佐久支場、JA佐久浅間、佐久養殖漁業協同組合、加工業者等を訪れ、水田を活用したフナの養殖技術から加工、流通等について学びました。

研修参加者の皆様は、佐久市で見聞き学んだことを本国における内水面漁業の発展に生かしていきたいとのことでした。